

授業概要

学校図書館が学校教育に寄与する情報センターとしての役割を果たすため、学校図書館メディアの特性、学校図書館メディアの意義とその構築や組織化について理解する。その上でこうした学校図書館メディアを学校教育にどのように展開するかを考えながら、学校図書館メディアの組織化の実務のスキルを修得する。授業は主として3部で構成する。第1部は講義(45分)、第2部は講義内容に付随するディスカッション(25分)、第3部はディスカッションのまとめをレポート(A4・1枚程度)として作成し提出する(25分)。第13回～第15回は、収集、目録、分類までの演習を行い講義の理解を深める。

授業計画

第1回	ガイダンス・学校図書館におけるメディアの教育的意義と役割(講義、ディスカッション、まとめ)
第2回	学校図書館メディアの特性(講義、ディスカッション、まとめ)
第3回	学校図書館メディアの構築(講義、ディスカッション、まとめ)
第4回	学校図書館メディアの選択(講義、ディスカッション、まとめ)
第5回	学校図書館メディア選択の情報(講義、ディスカッション、まとめ)
第6回	学校図書館メディアの収集方針(講義、ディスカッション、まとめ)
第7回	学校図書館メディアの組織化(講義、ディスカッション、まとめ)
第8回	学校図書館メディアの組織化-目録(講義、ディスカッション、まとめ)
第9回	学校図書館メディアの組織化-件名(講義、ディスカッション、まとめ)
第10回	学校図書館メディアの組織化-分類到(講義、ディスカッション、まとめ)
第11回	学校図書館メディアとデータベースの利用(講義、ディスカッション、まとめ)
第12回	学校図書館メディアの相互利用(講義、ディスカッション、まとめ)
第13回	組織化演習-収集
第14回	組織化演習-目録
第15回	組織化演習-分類
第16回	最終レポート提出とまとめ

到達目標

司書教諭の職務を行うことを前提に、次の達目標を設定する。①学校図書館メディアの意義が説明できる。②学校図書館メディアの特性が説明できる。③学校図書館の構築や組織化について説明できる。④学校図書館メディアの組織化の実務のスキルが理解できる。

履修上の注意

普段から大学図書館および公共図書館に出向き、図書館資料組織化の実際の観点を持ちながら利用すること。毎回の授業でのディスカッションの結果のまとめをレポートとして授業内で提出するので、積極的なディスカッションへの参加を期待します。

予習・復習

次回の講義内容について、指示するテキストや資料を確認しておくこと。

評価方法

毎回のまとめのレポート(60%)、3回の演習(30%)、最終レポート(10%)として点数化し評価点とする。評価基準は初回授業にて説明する。

テキスト

テキスト、参考文献等については授業内で指示する。また適宜必要な資料を配布する。